



この度は、HKS SLDをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本製品を安全に使用していただき、かつ機能を十分に発揮させるために取付け前及びご使用する前に本書をお読みください。

HKS SLD TYPE I は純正車両のスピードリミッターを解除する装置です。SLDを付けることにより、スピードリミッター制御が入らなくなり、サーキット走行時に非常に有効です。
一般公道では交通ルールを厳守し、安全運転してください。

- 本書は本製品を安全に使用していただき、あなたや他の人々への危険や損害を未然に防止するために守っていただきたい注意事項を示しています。
 - お客様、又は第三者が本製品及び付属品を誤使用したことにより受けた損害については、当社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
 - 本製品の取付けには、車両の内外装、及び電装系の取外し、加工等の作業が伴います。当社はこれらの作業による物的損害の責任を負いかねます。慎重に作業してください。
 - 本製品はHKS製品取付け車両を基準に開発されております。上記車両以外に取付けた場合は、本製品の機能・性能及び安全性について保証いたしかねます。
 - 本製品及び保証書の製造番号が一致していることを確認してください。
 - 本製品は、DC12Vマイナスアースの国産車のみに使用可能です。
 - 本製品の仕様は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。
 - 本書は予告なく改版することがありますので、あらかじめご了承ください。
 - 本書はお読みになった後も、本製品の側に置いてご活用ください。
 - 本製品は日本国内での使用を目的に設計されたものです。海外では使用しないでください。
- This product is designed for use in Japan only. It must not be used in any other country.

はじめに.....	1	故障と思う前に.....	4
目次.....	1	異常・故障時の対応.....	4
安全上の注意.....	1	保証について.....	5
パーツリスト.....	2	アフターサービスについて.....	5
取付方法.....	2	本製品の仕様.....	5
取付終了後の確認.....	4	用語の説明.....	5
取扱方法.....	4	改訂の記録.....	5
維持・管理.....	4	保証書.....	5

本書では、下記のような記号を使用してお客様への危険レベルを示しています。本製品を正しくご使用
お取扱いいただくために次の注意事項を必ず厳守してください。

—1—



- 本製品の取付けは、必ず専門業者に依頼してください。
- 本製品及び付属品の加工・分解・改造等の誤使用及び修理は絶対行わないでください。
感電及び車両の破損・焼損の恐れがあります。
- 精密電子機器のため、落としたり強いショックを与えないでください。
作動不良を起こし、車両を破損する恐れがあります。
- オイル・水等の異物が混入しないようにしてください。
作動不良を起こし、車両を破損する恐れがあります。
- 断線・ショート・誤配線のないように取付けてください。
感電及び車両の破損・焼損の恐れがあります。
- 車両及び本製品の本来の性能が損なわれている場合には、速やかに点検・整備を専門業者に依頼してください。

- 日常点検はドライバの責任です。必ず実施してください。
- 本書は基本の形を説明したものです。実際は車種によって取付方法が異なります。
- 純正部品の取付け、取外しの作業はメーカー発行の整備書をよく読んでから行ってください。
 - ・整備書がお手元ない場合は、メーカーにてご購入ください。
- 取付け作業のために一時的に取外す純正部品は、破損・紛失しないように大切に保管してください。
- ボルト・ナット類は適正な工具で確実に締付けてください。
 - ・必要以上に締付けを行うと、ボルトのネジ部が破損します。
- 接続時に、車両の配線を断線しないように取付けてください。

本製品は、下記の部品で構成されています。取付け前に異品・欠品のないことを確認してください。

●本製品を取付ける前に、取付予定の車種とSLD本体のタイプが適合していることを必ず確認してください。判らない場合には、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

(例)

形状等

数量

部品名

8

パーツの連番

取付説明書

本書は、基本の形を説明したものです。車両によって取付けが異なります。

1. バッテリマイナスターミナルの取外し

(1) バッテリのマイナス端子のターミナルを取外してください。

2. 配線方法

2.1. スイッチの設定

(1) 別紙の「スイッチ設定一覧表・特別配線車両配線図」より、取付ける車両のスイッチ設定を確認します。

(2) (1)の設定に適合する図を参照し、スイッチの設定を行ってください。

(3) スイッチの設定が合っている事を確認後、スイッチ穴が隠れるように付属の保護シールを貼ってください。

●シール前

set-up switch

completed

保護シール

●シール後

set-up switch

completed

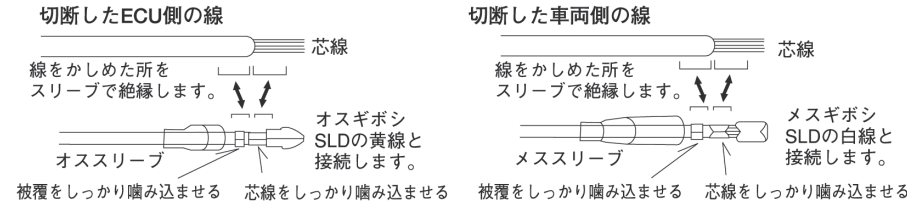
HKS ELECTRONICS TECHNOLOGY type I

SLD

SPEED LIMIT DEFENCER

MADE IN JAPAN

(1) 車速信号線を下図の通りに加工してください。

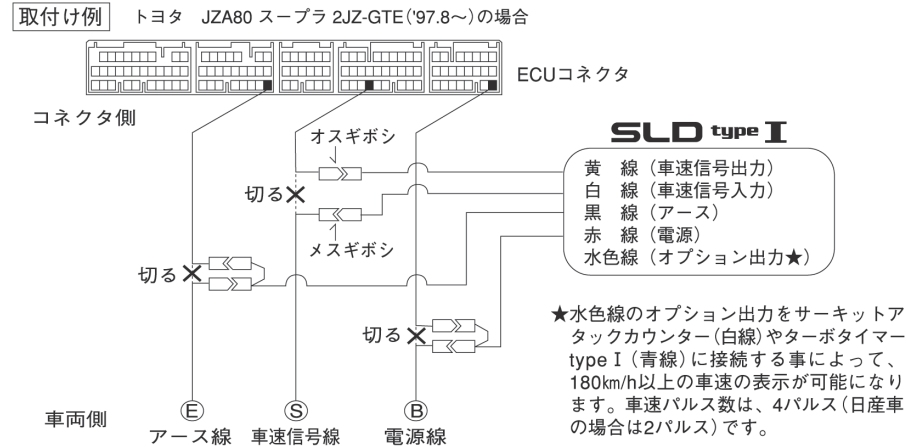


- ・ギボシをかしめる専用工具がない場合は、ラジオペンチなどで噛み込ませた後、はんだ付けをして、ギボシの裏に線が抜けにくいことを確認してください。
- ・ギボシを取付けの場合は、被覆を剥いた電線の芯線部分を折り二重にすると抜け難くなります。

- (1) HKSホームページ下記アドレスの「車種別配線位置図」から、取付ける車両のECU位置を確認してください。
www.hks-power.co.jp/aftersupport/manual_dl/electronics/haisen.pdf
ヴィッツNCP91とシビックFD2は「スイッチ設定一覧表・特別配線車両配線図」を参照してください。
- (2) (1)の位置よりECUコネクタを取り出します。
「車種別配線位置図」または「スイッチ設定一覧表・特別配線車両配線図」(記載車両のみ)を参照し、取付ける車両のECUコネクタ(ヴィッツNCP91の場合はメーターコネクタ)と形状が同じであることを確認してください。
- (3) 「車種別配線位置図」または「スイッチ設定一覧表・特別配線車両配線図」(記載車両のみ)を参照し、下記の順で配線を行ってください。

 **注意**

●配線を行う前に周辺の水を拭き取ってください。
配線や本体に水がかかると動作不良を起こし、SLDや車両を破損する恐れがあります。



- 1 車速信号線⑤の配線
 - ・車種別配線位置図のECUコネクタ図より車速信号線⑤もしくは「SLD」の位置を確認します。
(「SLD」と記載されている場合は、⑤の代わりに「SLD」に配線します。)
 - ・ECUコネクタから5cm程度の位置で切断します。
 - ・コネクタ側にオスギボシを取付けてSLDの黄線を接続します。
 - ・車両側にメスギボシを取付けSLDの白線を接続します。
- 2 電源線⑥の配線
 - ・車種別配線位置図のECUコネクタ図より電源線⑥の位置を確認します。
 - ・ECUコネクタから5cm程度の位置で切断します。
 - ・コネクタ側にオスギボシを取付けSLDの赤線のメスギボシを接続します。
 - ・車両側にメスギボシを取付けSLDの赤線のオスギボシを接続します。
- 3 アース線⑦の配線
 - ・車種別配線位置図のECUコネクタ図よりアース線⑦の位置を確認します。
 - ・ECUコネクタから5cm程度の位置で切断します。
 - ・コネクタ側にメスギボシを取付けSLDの黒線のオスギボシを接続します。
 - ・車両側にオスギボシを取付けSLDの黒線のメスギボシを接続します。

 **注意**

●配線は確実に行ってください。
配線間違いや接触不良は動作不良を起こすだけでなく、SLDや車両、関連機器を破損する恐れがあります。

- (1) ECUケース内の隙間やECUフード裏等、他の部品と干渉しない、水のかからない所に固定します。
- (2) 取付け位置の汚れ(ほこりや油分等)を中性洗剤等で取除いてください。
- (3) 両面テープを使用して固定してください。
- (4) 配線をタイラップで固定してください。

●確実に水のかからない箇所に固定してください。
SLDや配線に水がかかると動作不良を起こし、SLDや車両を破損する恐れがあります。

- (1) 配線が確実にされていることを確認してください。
- (2) 取外した純正部品を元通りに取付けてください。
- (3) バッテリーのマイナス端子のターミナルを元通りに取付けてください。

確 認 項 目	確 認
配線及び取付けた部品が、他の部品と干渉していないか。	
配線は確実に固定されているか。	
バッテリーのマイナス端子のターミナルが元通りに取付けてあるか。	

確 認 項 目	確 認
部品による干渉音がないか。	
配線は引っ張られてないか。	
エンジンを停止した後、各部が緩んでないか。	

●ユーザマニュアルに記載されている事項以外は専門業者に依頼してください。

- | 確 認 項 目 | 確 認 |
|------------------|-----|
| スイッチ設定は合っているか。 | |
| 配線位置は合っているか。 | |
| 白線、黄線が逆になっていないか。 | |
| ギボシは確実に接続されているか。 | |

●使用中、本製品に異音・異臭等の異変があった場合には、本製品の使用を直ちに中止し、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

そのまま使用すると、感電や火災の原因となります。

- 故障等の修理は、お客様ご自身では絶対に対処せず、必ず専門業者に依頼してください。
- 走行中、車両に異音・異臭・振動等の異変があった場合には、ユーザマニュアルに従って対処してください。

—4—

Ver.	日付	記載変更内容
3-1.01	2001/10	初版
3-1.02	2002/ 4	誤記修正
3-1.03	2004/ 6	追記・修正
3-1.04	2006/12	追記・修正
3-1.05	2007/12	追記・修正
3-1.06	2010/ 8	追記・修正
3-1.07	2020/10	追記・修正・削除